

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
【かかわる】	<p>⑬【地域づくり】</p> <p>将来の普代村を担う住民の一員として、地域の課題を解決するために必要な方策を議論し、積極的に自治体に提案する活動を通して、地域の課題に目を向けて地方自治に主体的に参画し、よりよい普代村を形成していくために行動する姿勢を育成する。</p>	<p>社会科</p> <p>総合的な学習の時間</p>
<p>【題材】 地球村の明日を担う中学生議会（平成26年10月8日実施）</p> <p>【対象】 普代村立普代中学校 第3学年生徒 26名（男子13名 女子13名）</p> <p>【実践の概要】</p> <p>10月8日（水）10時開会</p> <p>○参加者 生徒26名 （うち、議長役1名、議員役5名）</p> <p>村長、副村長、役場各課長、教育長、教育次長等13名 村議会議長、村議会議員傍聴席にて参観</p> <div data-bbox="794 815 1321 1164" data-label="Image"> </div> <p>○主な一般質問</p> <p>生徒A「普代村では、人口が減少しています。その原因として若者世代の働く場所が不足していると考えられます。そのため、新たな産業や雇用の場を作ることが大切だと思いますが、村長さんはどのようにお考えですか。」→（村長 答弁）</p> <p>「雇用を増やすためにも新しい産業分野として林業に着目しました。林業を始めるにあたって会社や工場を作り働く場を確保します。そのために国が指定している地域活性化総合特区の森林総合産業特区に指定してもらい、補助金などの援助を受けます。また、林業に携わる人材育成と資格取得のため、村主催の講習会などを開催します。このような取り組みを実践することで、普代村における新たな産業の育成と雇用の創出が可能になると考えますが、行政としての見解をお聞かせ下さい。」→（農林商工課長 答弁）</p> <p>生徒B「私たちは子育て教育について話し合いました。普代村は少子高齢化、人口減少が進んでいます。そうした中で将来の村民を育成することは、とても重要です。そのためより一層の子育て支援や教育の充実が必要と思いますが、この点について村長さんの考えをお聞かせ下さい。」→（村長 答弁）</p>		

「現在、普代村では無料の予防接種、無料学習塾などを行っており、高い評価を受けています。児童手当同様の支援策として、カードや商品券の形で支給してはどうでしょうか。消費活動が促進され、地域経済の刺激につながるのではないのでしょうか。」

→ (住民福祉課長 教育次長 答弁)

----- 以下 項目のみ -----

生徒C「普代村における人口減少の対策としての他の地域からの移住・定住促進策の必要性について」

生徒D「普代村における観光産業や各種イベントの企画運営について」

生徒E「普代村における自主財源の増加の必要性について」



【生徒の感想】

- 自分たちも時間をかけて「普代でもできそうな具体的な活動」を考えましたが、村長さんたちもそれに対して一生懸命考えて答弁してくださり、まずその事が私にとってはすごいことだと思うし、嬉しかった。高校卒業後は、普代で仕事をし、住み続けたい。また、村の行事にも積極的に参加したい。
- 村の課題は、大人だけでなく自分たちも深く関わっていくべき問題だとあらためて実感した。自分たちの意見が尊重されて嬉しかったので、自分も普段から関わりたい。
- 村の自主財源を増加させるには、自分が思っていた以上に困難で議員さん達もいろいろ考えていることがわかった。自分たちが考えた役場駐車場有料化は課題があり、他の対策をしなければならないことを思い知らされました。将来、普代村の役に立てるようにしたいと思いました。
- 自主財源を増やすための取り組みには村民や職員の理解が必要であり、すごく難しいことがわかりました。将来、普代で働くとしても普代から出るとしても自分が育ってきた村のために役に立てるような大人になりたいと思います。
- 中学生議会をして良かったです。議会を通して普代村のことがよくわかったし、将来のことを考える良い機会になったと思います。将来、普代村に戻ってきて仕事をしたいと思います。
- 今まで村についてほとんど考えたことがなかった自分が恥ずかしいと感じました。将来、何らかの形で普代村に貢献したいと思いました。
- 将来の職業を考えているが、自分の職業が少しでも普代のために役に立つような進路を考えたい。
- 村の優れている支援策をもっと他にアピールすれば良いと思いました。